

## 12月本部例会ご案内

**日時** 12月24日(日)午前9時～午後4時

**講師** 岡本 英夫 先生

**講題** 「正信偈」の ころを尋ねて

正信念仏偈の偈前の文を頂いています。親鸞聖人は正信念仏偈をつくるに当たり偈前の文で正信とは至心・信楽・欲生の如来真実の心を誓われた第18願であり、又念仏とは諸仏称名の願を誓われた第17願であるとこれが選択本願の行と信であり、自力の心には非ずとされています。

煩惱具足の衆生はもとより真実の心なし、清浄の心なし、濁悪邪見の故なり。十方衆生をして我が真実なる誓願を信楽すべしと勧めたまえる、御誓の至心信楽なりと言われ、欲生我国と言うは他力の至心信楽をもって安楽浄土に生まれんと思えと尊号真像銘文に述べられています。また尋常の時節をとりて臨終の称念を待つべからず、真実信心を得て攝取不捨の心光に入りぬれば正定聚の位に定まると見えたりとあり、これこそ浄土真宗の真の姿を述べられた御心と思います。

(11月例会より 河野繁典)